

# 「夢に挑む。」

## TEAM TAKASE 2009全日本モトクロス選手権シリーズ参戦レポート 第7戦 東北大会

スポンサー様各位

TEAM TAKASE代表 田中教世

2009MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第7戦北海道大会は、7月18～19日に岩手県東磐井郡藤沢町の藤沢スポーツランドで開催されました。この大会に「グリーンクラブ TEAM TAKASE」からは、IA1クラスの田中教世、IA2クラスの加藤史一と飯沼泰裕、IBクラスの倉田 翔の4名が出場しました。飯沼泰裕は怪我のため、倉田 翔は学業を優先するために前回の北海道大会を欠場したので、第4戦SUGO大会以来、ようやくチームのメンバー全員が揃って参戦出来ることになりました。

会場の藤沢スポーツランドは藤沢町の町営施設で、今回が19回目の全日本開催。サンド主体の路面と変化に富んだダイナミックなレイアウトが特徴で、観戦席からほぼコースの全体が見渡せることから、ライダー、観客双方から高い評価を得ているコースでもあります。大会期間中は梅雨前線の影響で雨が降ったり止んだりの不安定な天候となり、土曜日はほぼベストの状態が保たれましたが、決勝開始はウェット、午後のレースはマディコンディションでのレースとなりました。

夏の連休と重なったこの大会には、公式発表で土日合わせて11300人の観客が訪れました。また今回もTEAM TAKASEのサポーターの皆様やファンの皆様、スポンサー様にも大勢来ていただき、コースサイドからの声援や、力強い応援に後押しされてレースに臨むことができました。

IA1クラスに参戦する田中教世は、カワサキワークスチーム「K.R.T.」のピンチヒッターとして、今大会もワークスマシンKX450F-SRで出場しました。ワークスマシンでの参戦は責任も重大ですが、ポテンシャルの高いマシンでレースに出場出来ること、開発に貢献できることを嬉しく思っています。チャンスをくれたカワサキに改めて感謝する次第です。

IA1クラスの田中は、グリッド決めの予選を7番手で通過。決勝第1ヒートはスタートで出遅れ1周目12番手から追い上げのレースとなりましたが、着実に順位を上げ5位でフィニッシュ。第2ヒートは1周目6番手でコントロールラインを通過すると、悪化した路面コンディションの中激しいバトルを展開、表彰台にはあと一歩及ばなかったものの4位でチェッカーを受け総合5位の成績を残しました。

IA2クラスの加藤は、第1ヒート、好スタートを決めると序盤トップ争いを演じ5位。第2ヒートは8位で総合7位の成績を残しました。飯沼は予選前倉田はIB2、IB Openとも予選通過を果し、IB2は30位で入賞を逃したものの、IB Openは20位で1ポイントを獲得しました。

ポイントランキングでは、田中がIA1クラス6番手をキープ。、IA2クラスの加藤は21番手から15番手にジャンプアップすることが出来ました。倉田はIB2が27番手、IB Openは17番手です。

全日本選手権は、今大会が終了すると夏のインターバルに入ります。第8戦近畿大会の開催は約1カ月半後。連戦を繰り返してきたここまでとは違って十分な時間が取れるので、怪我をしたライダーは治療や調整でコンディションを整え、また、トレーニングと走り込みに汗を流し、終盤の3戦は万全の体調で悔いの残らないレースが出来るようチーム一丸となって全力を尽くします。更なる期待と応援をお願いします。



### IA1 #5 田中教世

第1ヒートはスタートで出遅れてしまい、追い上げのレースとなりました。第2ヒートはまずまずのスタートが切れましたが、トップ争いからは遅れてしまい、それでもなんとか表彰台をと全力を尽くしましたが、後半あと一歩攻めきることが出来ずにチャンスを逃してしまいました。

今大会終了後、左手の小指に入ったピンを抜く手術を受けます。第2戦近畿大会で負傷してから、この怪我に苦しめられてきたので、やっと開放されることになります。

夏のインターバル前半はまず怪我をしっかり完治させ、後半はトレーニングと走り込みで万全の体

調を取り戻す予定です。休み明けの第8戦名阪は、チームの地元での大会でもあるので、必ず表彰台に立ちます。期待してください。

### IA2 #555 加藤史一

とりあえず入賞、やっつとと言う感じですが、怪我からの復帰戦となった中国大会、弘楽園の7位は自分でも驚きで、正直まぐれ的な感じだったんですが、今回のレースは自信になりました。でも目指している目標はもっと上なので、まだまだ努力が必要です。次のレースまで約1ヶ月半、しっかり乗り込んで名阪に臨みたいですね。応援して下さい。皆様ありがとうございます。目標

に向かって頑張るので、引き続き応援をお願いします。

### IA2 #82 飯沼泰裕

東北大会から復帰する事ができました。チームの関係者始め、監督、スポンサー様、ファンの皆さんに感謝します。予選のスタートは良かったです。1周目終了時点で10番手辺りにいたんですが、ラスト3週の時点でペースを乱してしまい、予選通過する事ができませんでした。応援して下さった皆様すいませんでした。次の名阪まで1からやり直し、トレーニングと乗り込みに専念したいと思います。会場にきてくださった皆様、TEAM TAKASE

のパドックに応援しに来てくださった皆様、ありがとうございました。名阪は元気な走り見せられるように頑張りますので、よろしくお祈りします

### IB Open/IB2 #36 倉田 翔

IB2はスタート10番手で2周目に転倒。なかなかエンジンがかからず周遅れとなり最下位となりました。

IB Openもスタートは10番手くらいで、抜きつ抜かれつのバトルを繰り返しましたが、中盤に2度転倒し20位でした。

転倒とスピード不足が課題です。名阪まで時間があるので、練習とトレーニングを頑張ります。